

## 令和 4 年度吉川市自立支援協議会 部会活動報告

## I 相談支援部会

## 1 開催状況

開催日時	開催場所	出席者数
令和 4 年 4 月 6 日 (木) 10:00~11:20	(社福)彩凜会	16 名
令和 4 年 6 月 2 日 (木) 10:00~11:30	〃	15 名
令和 4 年 8 月 4 日 (木) 10:00~11:30	〃	11 名
令和 4 年 10 月 6 日 (木) 10:00~11:30	〃	15 名
令和 4 年 12 月 1 日 (木) 10:00~11:15	〃	14 名
令和 5 年 2 月 2 日 (木) 10:00~11:30	〃	14 名

## 2 会議の主な内容

## 1) 事例検討、情報共有

## (1) 埼玉県精神科救急情報センターについて

- ・夜間帯の緊急受診調整や警察の 2 3 条通報の一時的な対応を主に行っている。

## (2) 8050 問題、ひきこもり支援について

- ・高齢の両親に介入する事で長年ひきこもっている 40~50 代の子の課題が発覚する事が多く、高齢と障がい、包括と相談支援事業所等が連携して取り組む必要がある。
- ・誰が困っていて、誰のための支援なのか明確にする必要がある。
- ・移動手段の不足や通所の負担から訪問支援を希望するケースが増えてきている。

## (3) 研修やワークショップの情報提供について

## 2) その他、現状や課題について

- ・市内の相談支援事業所が他市に比べて極端に少ない。障がい者・障がい児ともに、新規の相談支援事業所が増えて、障がい福祉サービスや相談支援が充実すると良い。
- ・相談支援を行うに当たり、意思決定支援がいかに重要であると同時にいかに困難であるか、行き過ぎた支援の先回りは支援にならないと事例検討を行いながら共有を図った。
- ・マイナンバーカードの交付を希望する方が増えたことで、視覚障がいや知的障がいで来庁が難しい方からマイナンバーカードの受取り等について、後見人や包括に相談が相次ぎ、代理行為の線引きについて共通の課題があることが浮き彫りになった。

## 3 令和 5 年度の相談支援部会について

引き続き、事例検討を中心に各機関の役割、地域での支援など様々な視点から意見や情報交換を継続して行っていきたい。また、代理行為について議論を行いながら共通で使用できる同意書や委任状を作成して活用を図っていきたい。

## Ⅱ 子ども部会

### 1 開催状況

開催日時	開催場所	出席者数
令和4年 5月18日(水) 15:00～16:10	市役所305会議室	12名
令和4年 8月17日(水) 15:00～16:40	市役所201会議室	12名
令和4年 11月16日(水) 15:00～16:40	市役所305会議室	14名
令和5年 2月15日(水) 15:00～17:00	市役所305会議室	14名

### 2 会議の主な内容

#### 1) 各機関と情報提供・意見交換

- (1) 各機関の事業内容の紹介
- (2) 障がい福祉サービスの利用状況について
- (3) 福祉、教育、保健の連携について

各機関から事業内容の説明を行うとともに他機関との関係性や連携実績を説明することで、子どもの年齢や課題に応じた各機関の役割分担や関わり方について理解を深めた。出席者全員が他機関連携のイメージや福祉・教育・保健の多職種連携についての重要性を再認識した。

#### 2) 子どもの障がいや発達に悩みを抱える保護者の支援体制構築のためのフローチャート

母子保健、児童福祉、障がい福祉、発達センター、教育委員会、特別支援学校、保健所、児童相談所、相談支援事業所など子どもに関わる機関が部会に多く参加しているながらも気になるお子さんや家庭にどの機関が関わり、どんな情報を保有しているのか不明な点が多く、介入や支援を行うのに課題があった。障がい児の支援体制の確立、早期支援を目的に、横の繋がりを意識しながら支援体制を目視できるフローチャートの作成を検討している。

#### 3) その他、現状や課題について

子自身の発達の課題と併せ、保護者自身が外国籍であったり、精神疾患や知的障がいを持ち、保護者支援を必要としているケースが多い。保護者支援や家庭支援を前提としながら、子の課題解決のため、より連携を必要とする困難ケースが増えている。

### 3 令和5年度の子ども部会について

個人情報適切な取扱いに配慮しながら職員の経験年数やスキルに関わらず適切なタイミングで早期支援できる体制の構築に向けて、活用できるフローチャートを検討中。今後、内容の見直しを進めて、他機関・多職種でより一層の連携強化を図っていききたい。また、就学前から学齢期、義務教育後まで切れ目のない支援を意識して取り組んでいきたい。

### Ⅲ 就労部会

#### 1 開催状況

開催日時	開催場所	出席者数
令和4年 4月28日(木) 15:30~16:30	(社福)彩凜会	8名
令和4年 6月23日(木) 15:30~16:30	〃	11名
令和4年 8月25日(木) 15:30~16:30	〃	11名
令和4年10月27日(木) 15:30~16:30	〃	11名
令和4年12月22日(木) 15:30~16:30	〃	10名
令和5年 3月2日(木) 15:30~16:30	〃	9名

#### 2 会議の主な内容

##### 1) 情報提供・意見交換

(1) 就労部会構成機関の事業報告

- ・機関ごとの令和3年度中の就労実績、主な取り組みの報告

(2) 吉川市障がい者就労促進支援金についての情報共有

- ・基金を活用した障害者就労の職場実習と就労初期支援の交付金を新設し、部会で共有することで、障がい者就労の充実やきっかけを図った。

(3) 吉川市合同就職説明会についての情報共有

- ・市内事業者及び市内求職者支援のため、商工課で主催している合同就職面接会について、障がい者求人枠を設置し、障がい者就労のマッチングを図った。

##### 2) その他、現状や課題について

就労継続支援B型事業所、就労移行支援事業所が新設され、部会参加者が増えたことで、昨年度以上に大きな話し合いの場として意見交換や議論の活性化を図ることが出来た。

就職しても職場の理解不足や精神状態の悪化から就労先への定着が課題となっており、支援金を活用して就労先への定着を図るほか、行政と事業所等が連携した更なる啓発が必要である。また、コロナ禍の影響によりオンラインによる新たなサービス提供や難病の方の就労相談など新たな課題や手段が生まれ、今後は様々な働き方を見据え、支援のあり方についても柔軟な対応が必要である。

#### 3 令和5年度の就労部会について

引き続き、行政と事業者が連携しながら障がい者就労の啓発を図ると共に、事例検討を通して各機関の役割、地域での支援など様々な視点から意見や情報交換を継続していきたい。また、優先調達法に基づき、市内事業所の特色や利点を生かした調達につながるよう市役所内から業務拡大を図っていきたい。

## IV サービス向上部会

### 1 開催状況

開催日時	開催場所	出席者数
令和4年 5月25日(水) 16:00~17:00	(社福)彩凜会	8名
令和4年 7月27日(水) 16:00~17:00	〃	9名
令和4年 9月28日(水) 16:00~17:00	〃	9名
令和4年 11月30日(水) 16:00~17:00	〃	7名
令和5年 1月25日(水) 16:00~17:00	〃	8名
令和5年 3月22日(水) 16:00~17:00【予定】	〃	—

### 2 会議の主な内容

#### 1) 情報提供・意見交換

##### (1) 各事業所の状況報告について

- 生活介護事業所、就労継続支援事業所、就労移行支援事業所が新規開設し、部会参加者が増えたことで、利用者層の二極化（一般就労を見据えて高いレベルで通所⇔毎日通所できることが目的）など共通の課題を認識した。

##### (2) 市内事業所アクセスマップの作成について

- 昨年度から市内の障害福祉サービス事業所（通所施設等）のリーフレット作成を検討していたが、事業所の新規開設が多く新規事業所を素早く反映させるため、事業所ごとに案内文を作成し、掲示できる形を模索している。障がい者が利用しやすいお店のマップ化なども希望があり、今後検討を重ねていく。

#### 2) その他、現状や課題について

令和2年度から構想している「福祉ミニフォーラム」を始め、コロナ禍で自粛していた事業や事業所間の交流を再開することで、市内事業所の特色を生かして、サービス向上や利用者の満足度を向上に繋がるのではないかと考えている。

サービス利用の相談が増える一方で、いざ利用を開始すると通所が難しい現状があり、訪問型やオンライン型など新たなサービス提供の形が増えている。

### 3 令和5年度のサービス向上部会について

引き続き、市内事業所アクセスマップの作成を進め、サービス利用を希望する当事者やご家族への周知はもちろん、近隣住民や市民の方に広く障がい福祉サービスを周知し、理解啓発の一助となるよう努めていきたい。また、新型コロナウイルスの感染状況にも注意をしながら、「福祉ミニフォーラム」の開催や市主催イベントと連携を図り、サービス向上に繋がるよう情報発信の手段や方法を工夫して、検討を進めていきたい。

## (参考) グループホーム意見交換会

### 1 開催状況

開催日時	開催場所	出席者数
令和2年 11月 4日 (水) 10:00~12:00	(社福)彩凜会	9名
令和4年 7月 6日 (水) 10:00~11:15	〃	9名
令和4年 9月 7日 (水) 10:00~11:15	〃	9名
令和4年 11月 9日 (水) 10:00~11:30	〃	9名
令和5年 1月 11日 (水) 10:00~11:45	〃	11名

### 2 会議の主な内容

#### 1) 情報提供・意見交換

(1) 各事業所の状況報告について

- ・新型コロナウイルスの感染対策、感染時の職員対応など居住サービスならではの課題が判明した。市内で共同生活援助（グループホーム）が増えたことで、より共通の課題や活発な意見交換が期待できるため、顔の見える関係で課題の共有や意見交換を行い、より充実した支援に繋げていきたい。

(2) 依存症について

- ・アルコール依存の入居者の方への対応が共通課題で上がり、支援方法を模索している。回復した方の体験談を聞く機会を設け、支援の在り方を共有した。

#### 2) その他、現状や課題について

重度障がい者向けのグループホームが近隣になく、ショートステイ拡充と併せて課題である。

### 3 令和5年度について

グループホームの需要は年々高まっていて、住み慣れた吉川市内で引き続き暮らし続けたいというニーズも高い。グループホームが増えることは良いことだが、質の向上や特色ある事業所の中でも一定のモラルや利用者の生活は守られるべきであるため、吉川市自立支援協議会の部会として正式に設立し、協議の場としていきたい。部会の中で情報共有や課題解決を行い、質の高い支援の中で安心して生活を送れるよう事業所同士、行政との連携を図っていきたい。